



里山で大地の再生講座を受ける参加者

(特非) あぶくまの里山を守る会

森林セラピーフィールドとしての 活用を目指した里山の再生事業

入門助成

1年目

実践

セミナー参加人数 63人

ワークショップ
参加人数

130人

活動の全体目標に
対する達成度

60%

課題

森林セラピーのフィールドとして利活用できるように里山(森林・田畑)を整備する。

目標

地域住民をはじめ多くの人々が関わる里山再生事業をしたかったので、里山の四季の収穫物を利用したワークショップを行いながら森林セラピーのフィールドとして利活用できる里山に再生する。

活動内容

丸森町舘矢間地区を対象として「森林セラピー」を実施する里山にするために里山や地域で収穫できる資源を活用した筍堀り、梅収穫、柿渋づくり、栗拾い、干し柿づくりや里山の水脈をよみ整備していく大地の再生講座、地元小学生の植樹イベント・ワークショップを行った。里山の再生・利活用の啓発を図り、行政、地元小学校、地元企業、地域住民などの関係者へ情報発信や意見交換の場を構築してきた。



里山が再生されたため池

達成できなかったこと

森林セラピーフィールド及び癒しのためのプログラム作成が出来なかった。専門知識を持った人がいなかった。

今後の展望

多くの人と関わって、里山が再生されて行く中で癒し(セラピー)を提供していく。

成果と工夫した ポイント



成果

- ・行政、地元小学校、地元企業、地域住民の活動参加により里山の再生、利活用の関心が高くなった(20%)。
- ・大地の再生講座による実践作業により里山のため池に水脈が戻り、生き物が生息できる環境が整った。

工夫

ワークショップイベントは、複数の企画をし、1回の参加で二つの体験ができるようにした。